

# 令和2年度 渋谷区立広尾幼稚園 園経営方針

渋谷区立広尾幼稚園長 木下 和弘

## 教育目標

- 自分でできることは自分でする子ども
- よく考え、すすんで行動する子ども
- 元気で友達とよく遊ぶ子ども
- 心の豊かな子ども

### ○自分でできることは自分でする子ども

- ①年少、年長それぞれの発達段階に応じた基本的な生活習慣の育成に努める。各家庭における基本的な生活習慣には差異がある。幼児一人一人の実態を見極め、それぞれの違いを認め、個に応じた支援を行う。
- ②特別な教育的支援を要する（介助）幼児については、家庭と十分連携・相談を行いながら、できることは伸ばし基本的な生活習慣の定着を図る。
- ③一人でできたときや、できないことができるようになったときは、具体的に大いに褒め、成功体験や自己肯定感が高まるようにする。

### ○よく考え、すすんで行動する子ども

- ①4歳児、5歳児、それぞれの発達段階に応じて、善悪の判断や生きる知恵を身に付けさせる。幼児の心の迷いや友達とのトラブル等を簡単に解決させるのではなく、ある程度の時間を掛けて幼児自身に考えさせたり、解決の方法等を見付け出したりできるように支援する。
- ②よい行動や言動は友達の前で認め、褒め、日常生活の中で、善行の積み上げを意図的に行い、自信をもって行動できるようにする。
- ③教師や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるようにする。

### ○元気で友達とよく遊ぶ子ども

- ①幼児は、遊ぶことが大好きで仕事である。遊びを通して体験し、体験を重ねていくことで遊びがより一層豊かになっていく。遊びと学びの循環を良好にするよう努め、園児同士の相互の人間関係を豊かにしていく。また、園庭や園舎の安全管理は十分に行い、幼児が安心して遊べるような環境作りを努める。
- ②家庭と連携協力して「早寝・早起き・朝ご飯」の指導を徹底し、規則正しく健康な生活ができるようにする。

### ○心の豊かな子ども

- ①あいさつは人間関係づくりの原点である。豊かな心は豊かな人間関係から生まれる。元気のよい明るいあいさつに溢れた園舎は豊かな心の象徴である。教師自らが、一人一人に声を掛ける。
- ②命の大切さや自然の不思議さなどを、体験を通して気付いたり、感じたりすることができるように動植物とかかわる機会をもてるようにする。
- ③豊かな学びは、豊かな感動体験から生まれてくる。よりよい感動体験の充実を図り、一つの感動を皆で共有できるように努める。
- ④本の読み聞かせや毎月のお話し会を通して、本に親しみ豊かな感性を培うように導く。

## 小学校教育への円滑な接続

